

USパテントニュース

・U.S.ITC、トヨタハイブリッドに関する申し立ての調査開始

Reuters によれば、ワシントン D.C.の米国国際貿易委員会(ITC)は、Toyota Motor Corp. (トヨタ)とその米国子会社によるハイブリッド車に関する特許侵害の疑いについて調査することを決定したとのことです。この調査は、1月に Solomon Technologies (ソロモン)によって提出された申し立てに基づくものです。ソロモンは、marine industry 用小型電気エンジン開発業者であり、昨年9月にフロリダ中部の米国地方裁判所にもトヨタに対する訴えを提起しました。ソロモンは、トヨタの有名なプリウスおよびハイランダーモデルのハイブリッドトランスミッションは、電気モーターとトランスミッション装置の組み合わせに関する彼らの特許を侵害していると主張しています。ソロモンは、トヨタとその米国子会社がソロモンの技術を侵害している疑いのある製品を輸入することを禁止する排除命令を求めています。

・ソニー、ゲームコントローラー特許係争に敗訴

Wall Street Journal によれば、Sony Corp. (ソニー)は、Immersion Corp. (イマージョン)によって提起された特許侵害訴訟における、90.7 百万ドルの陪審員の評決を覆す試みに失敗したとのことです。問題となっているのは、いわゆるハプティック(haptic)技術であり、この技術は、スクリーン上のアクションに応じてゲームコントローラーを振動させるものです。イマージョンは、2002 年、カリフォルニアの米国地方裁判所に、ソニーのゲームコントローラーは、上記技術に関するイマージョンの特許を侵害していると主張して訴えを提起しました。陪審員は、2004 年9月にイマージョンを支持する評決を下しました。ソニーは、イマージョンはコンサルタントによる初期のハプティック技術の発明に関する情報を隠蔽していたと主張して裁判に戻りました。ソニーは、この主張を90.7 百万ドルの判決に対する抗弁として使用しました。しかし、裁判官は、コンサルタントによる証言は信用できないと認定し、さらにソニーからコンサルタントへの150,000 ドルの支払いについて疑問を投げかけました。この係争は、米国連邦巡回控訴裁判所において継続中のソニーによる控訴によって続いています。

以上は米国 GREENBLUM & BERNSTEIN 法律事務所から許可を得て、同事務所が発行した ASIAN PRACTICE GROUP NEWSLETTER から抜粋、翻訳したものです。